

¡ HOLA ! PARAGUAY

～ パラグアイからこんにちは！～

2019.7 vol. 2



1. 日々の活動 ～色々な搾乳方法～

こんにちは！ San Juan del Paraná 市で活動を行っている山田です。日本の反対側にあるパラグアイでは冬が始まり、パラグアイで一番寒いと言われている私の市では 10℃を下回る日も増えてきました…。

長期隊員のメインの仕事として市内の酪農家巡回があり、現在 5 軒の酪農家さんと一緒に活動を行っています。搾乳に立ち会って、CMT や BCS、乳量などを測定しています。日本で搾乳といえば手搾りを想像する人はいないと思いますが、こちらは手搾りと機械搾乳が混在しています。



左の写真の酪農家さんは、天井も床も整備されていない場所で搾乳を行っています。また、この場所には水が通っていないため、毎朝搾乳に使用する約 3ℓ の水を汲んで運んでいます。

中央の写真の酪農家さんは、天井のみが整備された搾乳場で搾乳を行っています。そしてなんと、右と左の両方向から搾乳をすることが出来ます！パラグアイの牛は人に慣れていないため、見慣れない人が近づくと暴れたり乳量が減ったりするのですが、ここの牛はとてもおとなしいので私が近づいたり触ったりしてもなんの問題もありません。

右の写真の酪農家さんは、機械搾乳を行っています。牛は、個体番号ではなく名前のみで管理されるのが一般的で、ここの牛達は「Sin Nombre(名無し)」「Come Rápido(早食い)」といったような面白い名前がつけられています。

2. 文化紹介 ～パラグアイの国旗～

国旗の表面と裏面・・・!?

パラグアイの国旗は、上段から「赤」「白」「青」の横三色旗となっており、赤は正義、白は平和、青は自由を表しています。これと全く同じ配色の国旗をもつ国がオランダであり、このままでは見分けがつかないため、パラグアイの国旗の中央には必ず紋章が置かれます。

また、パラグアイの国旗は世界で唯一、表と裏でデザインが異なっています。細かく分類すると、国旗の表と裏で紋章が鏡面になっていたり(モルドバ共和国)、文字の向きを揃えていたり(サウジアラビア共和国)する国はありますが、デザイン自体が異なっているのはパラグアイのみです。



パラグアイの国章(国旗の表面)



パラグアイの国庫証印(国旗の裏面)

デザインの意味

国旗の表面の中央部には、星が椰子の葉とオリーブの葉で囲まれた紋章が描かれており、さらにその周りを国名(REPUBLICA DEL PARAGUAY)で囲っています。

また、国旗の裏面の中央部には、「フリジア帽」と呼ばれる、奴隷から自由への開放の象徴である帽子を守るライオンが描かれており、さらにその周りを平和と正義(PAZ Y JUSTICIA)という文字で囲っています。

3. 最後に

今回の通信は、パラグアイの国旗紹介でした。みなさん、パラグアイという国に興味を持っていただけただけでしょうか？ 次回の通信は、パラグアイの飲み物について紹介する予定です。お楽しみに！